

6/2 (X)

## 自治会・回覧

会員各位

令和8年6月2日  
桜台自治会長 大竹幸夫

### ○有秋中学校支援金へのご協力をお願い

本年も有秋中学校後援会より支援金の協力依頼がまいりました。今年の桜台自治会総会で班長の任務軽減措置として「各種募金の集金」を削除しましたので班長による集金は致しませんが、別紙「趣意書」に書かれている内容に賛同していただける方には寄付金をお願いいたしたいと思えます。

なお、「趣意書」には、寄付金は1口1,000円となっておりますが、金額は問いません。皆さまからの支援金は、有秋中学校の環境整備、教育活動、課外活動等に活用されます。

《会員の皆様へ》支援に賛同していただける方は、別紙「申込書」に必要事項をご記入していただき、後日、別途有秋中学校後援会から訪問させていただきますのでよろしくお願いたします。

《班長さんへ》別紙「申込書」を回収し自治会館までお持ちください。記入が無い場合でも「申込書」をお持ちください。

自治会館は土曜日・日曜日・祝祭日も開館しております。



有秋地区町会・自治会の皆様

趣 意 書（市原市立有秋中学校後援会からのお願い）

各位有秋地区の皆様には、日頃より有秋中学校の教育活動支援のために、格別のご理解、ご協力をいただきまして、心よりお礼申し上げます。

さて、市原市立有秋中学校後援会（以下「後援会」と略す）は、昭和58年に『有秋地区に設立された唯一の中学校である有秋中学校を我々の手で支えよう』と、子ども達の健全育成を目的として結成されました。結成以来、後援会では、校内の環境整備、教育活動、課外活動充実発展のため物心両面にわたる支援を41年に渡り続けて参りました。この結果、昨年も教育環境も良好に整備される一方、運動・文化活動に於いて、市内大会や県大会に於いて好成績と多くの成果を上げることができました。しかしながら、少子化に伴い、今後とも様々な教育支援が求められている現状です。

「地域の子ども達は地域で育てる」「地域の学校は地域で応援する」を合い言葉に、一人でも多くの方々と有秋中学校を支援していきたいと思っております。どうか、皆様、本後援会へのご理解・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

令和7年度に、各町会・自治会からの入金金額の総計は662,850円となっております。ご協力心より感謝申し上げます。

なお、現在は一口 1,000円でお願ひしております。寄付金は直接、有秋中学校までよろしくお願ひします。

令和8年5月吉日

後援会役員一同

会 長	小野 賀章（立野）	理 事	片岡 家光（不入斗）
副会長	大沼 一郎（こぼり）	理 事	泉水 和浩（深城）
副会長	大津 弘美（桜台）	理 事	矢作 豊
会 計	藤田 富紀子（桜台）		（イーストステージ有秋台西）
会 計	島崎 勝一（山谷）	理 事	倉持 好夫（緑園都市）
監 事	佐藤 久美子	理 事	鈴木 敬太（桜台）
	（スカイタウン有秋台西）		
監 事	飛田 光大（緑園都市）	有秋中学校	
		校 長	國吉 浩二
		PTA会長	小林 和代

※ 裏面に昨年度の後援会事業報告と会計報告を載せてあります。

## 令和7年度 市原市立有秋中学校後援会 事業報告

1. 運動部・文化部等の活動への支援
  - (1) 市大会及び県大会バス送迎経費援助
  - (2) 吹奏楽・各種発表会生徒送迎経費・楽器等運搬費援助
  - (3) 各種大会登録費及び参加費援助
  - (4) 用具等の物品購入経費援助
2. 行事・各種連絡協議会などに係る活動への支援
3. 校舎内外の環境美化、環境整備に係る活動への支援
  - (1) 校舎内外の環境整備経費の援助
4. 50周年記念行事の企画
  - ・「有秋中学校50周年の集い(語り合う会)」(仮)の企画
  - ・歴代PTA会長、生徒会長の名簿作成

## 令和7年度 市原市立有秋中学校後援会 会計報告

### 1. 収入の部

項目	決算額(単位:円)	付記
会費	662,850	各町会、自治会より寄付金

### 2. 支出の部

項目	決算額(単位:円)	付記
選手派遣費	552,290	貸切バス・タクシー代等
文化奨励費	89,860	楽器輸送費・参加費・講師謝礼等
体育奨励費	0	
環境整備費	0	
需用費	0	
通信費	0	後援会総会資料等郵送費
積立金	50,000	50周年記念行事積立金
合計	662,850	

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。